

第37回 JIA神奈川建築WEEK



かながわ建築祭

2026

2.19Thu ~ 23Mon

会場：横浜市役所

参加無料

(アトリウム・展示スペースA・展示スペースB・協働スペースAB)

CPD申請中

©TERAKAWA 写真事務所

地域の中の建築家

いま改めて地域の中での建築家の役割を考える

シンポジウム1 2050年、神奈川どうなる？建築界どうする？

シンポジウム2 「みんなの家」の今とこれから

まち歩き&レクチャー 様式建築から防火帯建築へ

展示・アワード シチズンアワード JIA 神奈川会員活動展 2026 他

公開審査・展示 神奈川7大学1専門学校 卒業設計コンクール

お申し込み

各イベントの
お申し込みは
こちらから。



主催：公益社団法人日本建築家協会関東甲信越支部神奈川地域会（JIA 神奈川）

後援（予定）：神奈川県、横浜市建築局、（一社）神奈川県建築士会、（一社）神奈川県建築士事務所協会、（一社）日本建築学会関東支部神奈川支所

協賛：株式会社建築資料研究社／日建学院、株式会社総合資格

協力会：アイオーシー(株)、石井造園(株)、(株)市川屋、SD Lighting (株)、(株)エフワンエヌ南関東支店、(株)角藤、(株)神奈川ナブコ、川本工業(株)、元旦ビューティ工業(株)、キハラ(株)、(株)建築資料研究社／日建学院、神島化学工業(株)、(株)ココラボ、(株)サクラ、(株)サムシング、SANEI (株)、三協立山(株)三協アルミ社、三興商事(株)、(有)サンテック、(株)ジーエーシーサポート、JFE 建材(株)、Sto Japan (株)、(株)総合資格、高島屋スペースクリエイツ(株)、田島ルーフィング(株)、DN ライティング(株)、(株)東京工営、東芝エレベータ(株)、(株)時久組、ナイス(株)、(株)ニッシンイクス、(株)ハーフェレジャパン、(株)ピアレックス・テクノロジーズ、ピーエス工業(株)、(株)富士、扶桑電機(株)、文化シャッター(株)、星通商(株)、Matt & Massimo (同)、(株)三好商会、横浜エレベータ(株)、横浜ビル建材(株)、(株)LIXIL、YKK AP (株) ※五十音順

会友：(株)栄港建設、(株)キクシマ、ヒロ・タテシオフィス

2026年2月19日(木)からJIA神奈川建築WEEK「かながわ建築祭2026」を開催いたします。

公益社団法人日本建築家協会
関東甲信越支部神奈川地域会
第11代 JIA 神奈川代表
柳澤 潤



地域の中の建築家 ～いま改めて地域の中での建築家の役割を考える～

今日本各地で起こっている様々な災害、さらにこれから起こるであろう災害にわたしたち JIA 神奈川に所属する建築家達は何が出来るのでしょうか、また何が出来たのでしょうか？私が代表を務めさせていただいたこの4年間「地域の中の建築家」というテーマで JIA 神奈川は活動을続けて参りました。特に「タウンアーキテクト」としての若い建築家の広範な活動がその地域や環境に重要な役割を果たすことがわかってきました。同時にこうした若い活動家を支える体制そのものの見直しを図る時期に来ていることも理解が進みました。第37回目を迎える『かながわ建築祭』ではこうした課題にいくつかのテーマをもって臨みたいと思います。関内周辺に残る建築建築群“防火帯建築”のまち歩き、神奈川県建築会議に属する神奈川県建築士事務所協会、神奈川県建築士会との合同で行うシンポジウム、“みんなの家”をテーマに能登半島での若い建築家の活動やそれを支える伊東豊雄さんらによるシンポジウム、さらにはその展示、神奈川県下7大学1専門学校による卒業設計コンクール、JIA 神奈川会員による作品展示・活動紹介など、今年度も横浜市役所アトリウムという公共性の高い場所で約1週間にわたる祭典を行います。JIA 神奈川の年間の集大成ともいえる建築祭に皆様のご来場を心よりお待ちしております。

シンポジウム1

2050年、神奈川どうなる？建築界どうする？

日 時：2月21日(土)13:00～14:30 (12:30開場)
会 場：アトリウム (横浜市役所1階)
登壇者：上原伸一 ((一社) 神奈川県建築士会 会長)
平山正義 ((一社) 神奈川県建築士事務所協会 会長)
柳澤 潤 (JIA神奈川)
進 行：安達 功 (日経BP 総合研究所 フェロー)
定 員：140名 (関係者含む) / 申込不要

2026年現在、建築界を取り巻く状況は厳しいものばかりです。人材不足や単価高騰、若者の設計離れなどある意味社会の縮図がそのまま建築界に現れているとも言えます。シンポジウム1では、神奈川県建築会議に属する(一社)神奈川県建築士事務所協会、(一社)神奈川県建築士会、(公社)JIA 神奈川がこれからどのようにタッグを組み、これらの課題解決に向けて取り組むべきか、これからの建築界のありかたを議論します。



シンポジウム2

「みんなの家」の今とこれから

日 時：2月21日(土)16:00～17:30 (15:30開場)
会 場：アトリウム (横浜市役所1階)
登壇者：伊東豊雄 (伊東豊雄建築設計事務所)
妹島和世 (妹島和世建築設計事務所 / SANAA)
江村拓哉 (公益財団法人 日本財団)
廣岡周平 (PERSIMMON HILLS architects)
進 行：柳澤 潤 (JIA神奈川)
申 込：下記 QR から事前申込 (座席先着 100名)

2024年元旦に起こった能登半島大震による被災地での暮らしや活動の制限は今も続いています。シンポジウム2では建築家 伊東豊雄氏、妹島和世氏をはじめとする“みんなの家”の活動を通して、能登半島での若い建築家の活動とそれを支援する団体のあり方を議論し、これから日本各地で起こるであろう災害に対して“みんなの家”が果たす役割や意味を問います。



展示

【展示スペース A】

・横浜正金銀行本店本館の歩み (横浜国立大学大学院都市イノベーション学府) (制作協力：神奈川県歴史博物館)

【展示スペース B】

・映像展示：「旧根岸競馬場一等馬見所パドック (建設中)」 「旧米軍住宅 (根岸台) 住民インタビュー」
・パネル展示：「防火帯建築」他

【協働スペース AB】

・「第5回建築学縁祭 100選」(株)総合資格

まち歩き & レクチャー

様式建築から防火帯建築へ〈馬車道・関内周辺〉

日 時：2月22日(日)13:00～16:00
集合場所：アトリウム (横浜市役所1階)
講 師：藤岡泰寛 (横浜国立大学大学院都市イノベーション研究院 都市イノベーション部門 教授)
笠井三義 (JIA 神奈川 まちづくり保存研究会)
申 込：下記 QR から事前申込 (先着 20名) ※イヤホン貸与・保険加入済



公開審査・展示

神奈川県7大学1専門学校 卒業設計コンクール

公開審査：2月23日(月・祝) 一次審査10:00～12:00
二次審査13:00～16:00
作品展示：2月19日(木)～2月23日(月・祝)10:00～18:00(23日は16:30まで)
会 場：アトリウム (横浜市役所1階) ※オンライン配信予定
審査員：西田 司 (オンデザインパートナーズ)
審査員 (JIA2024 新人賞受賞者)：
玉田誠・脇本夏子 (玉田・脇本建築設計事務所)
森田一弥 (森田一弥建築設計事務所)

JIA 神奈川の推進事業の1つとして計画した本コンクールも第37回を迎えることができました。神奈川県内で学び建築家をめざす学生の勉学の集大成とも言える卒業設計を対象としたコンクールです。実社会で活躍する建築家と学生とのふれあいの場を作り、地域文化の活性を計ると共に、優秀な学生を賞し、将来、社会で活躍することを期待した事業です。2011年から一般公開を始め、より身近なコンクールとなりました。建築教育のすばらしさを多くの人に感じていただければ幸いです。



展示・アワード

シチズンアワード JIA 神奈川会員活動展 2026

日 時：2月19日(木)～2月23日(月・祝)10:00～18:00(23日は16:30まで)
会 場：協働スペース AB (横浜市役所1階)

JIA 神奈川地域会員約150名と協力会50社による活動の展示です。来場された皆様による投票により、その活動を表彰します。

- ・「第1回全国建築学生チャレンジコンペ 2025 ～まだ名もない和の表現～」(株)建築資料研究社 (日建学院)
 - ・「第17回 ハーフエ学生デザインコンペティション 2025 いたづらな建築～むだがいける世界～」(株)ハーフエレジパン
 - ・JIA 神奈川会員 (個人・法人) 作品展
 - ・神奈川建築コンクール JIA 神奈川受賞者作品展示
- 【アトリウム】
- ・「30年後の藤沢市をつくろう」ふじさわこどもまちづくり会議
 - ・「みんなの家」能登のみんなの家 (NPO 法人 HOME-FOR-ALL)

会場案内

横浜市役所

神奈川県横浜市中区本町
6丁目50-10



お申し込み

各イベントの
お申し込みは
こちらから。



公益社団法人 日本建築家協会 関東甲信越支部神奈川地域会 (JIA神奈川)

横浜市中区不老町1-1-1 守谷ビル9階(スタジオニブロール内)
TEL:045-663-2745 FAX:045-663-2746
E-mail:info.jiakanagawa@gmail.com HP:www.jia-kanto.org/kanagawa/